

## 宍道湖における湖沼研究

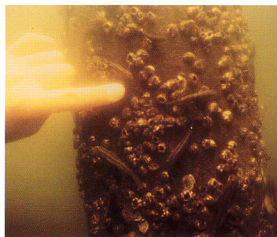
<山室 真澄>



1. 浅い自然湖岸、自然の浄化作用は、このような湖岸で最も効果的に働く。



2. 植物プランクトン起源の有機物が供給されるため、堆積物の有機物含量は、非常に高い。表層は酸化的でヤマトシジミも生息しているが、数cm下は還元層になる。



3. 宍道湖は植物プランクトンが豊富なので、水深1mでも視界は50cmしかない。しかし同時に植物プランクトンを食べる動物も多く、湖沼としては日本一の漁獲量を訪っている。



4. 高い生産力に支えられて小動物が多いため、冬季に飛来する水鳥の数も日本有数である。居心地が良すぎて(?)、夏まで居残っているキンクロハジロ。

(関連：本文58ページ)